



花 高 通 信

No. 3 H30.7.27

HP = <http://www2.iwate-ed.jp/han-h/>

Tel = 0191-82-3363

★熱闘！花高野球部！！

シード校相手に激闘！ 一丸となり全力で全校応援！ 7月12日(木)

第100回全国高等学校野球選手権記念岩手大会が開幕し、本校はいよいよ初戦を迎えました。この春、6名の1年生部員が新たに加わり、総勢選手15名・マネージャー1名の布陣となりました。春季大会の地区予選では一関学院に0-7の7回コールド、敗者復活戦でも千厩に0-6と得点をあげることなく敗れてしまいました。「打撃力の強化」を課題として練習に取り組んでいきました。練習や練習試合を重ねるたびに、1年生たちもたくましく成長し、チーム力がぐんぐんと上がっていきました。応援団も団長木村拓哉くんを中心に、全校生徒一丸となった応援体制づくりに励み、練習に練習を重ねて本番に臨みました。

初戦は古豪、シード校である水沢高校との戦いになりました。圧倒的に不利な戦前の予想とはうらはらに、わが花泉高校打線は初回から火を噴きました。先頭の1年生小松優也くんが目の覚めるようなレフトオーバーの二塁打を放ち、主砲佐々木滯央くんのレフト前タイムリーで先制のホームを踏みました。乱打戦の幕開けです。1回裏に相手6番打者の3ランホームランなどで一挙4点を奪われ逆転を許すものの、3回表には先頭佐藤優多くんが相手エラーで出塁すると、またもや3番滯央くんが左中間を見事に破るタイムリー2塁打を放ち反撃ののろしを上げた。送りバントで走者を進め、続く5番野洸くんのセンター前タイムリーで2点目、さらに安藤爽太くんのライト前ヒットでチャンスを広げ、7番千葉聖也くんの内野ゴロの間に今野くんが同点のホームを踏んだ。花高打線は勢いを増し、続く4回表には1死から2番優多くんの左中間2塁打、3番滯央くんもレフト前でつなぎ、4番千葉慶斗くんのレフト前タイムリーで1点、6番安藤くんのセンター前タイムリーで2点をリードした。ディフェンスではエース洸くんが変化球を混ぜた丁寧な投球で相手打線を翻弄し、3回裏のセンター優多くんの見事なレーザービームの返球による本塁捕殺などバックにも支えられ、2回から5回まで0を並べるなどシード校水沢に対して堂々たる闘いぶりをみせた。しかし6回裏水沢に2点を奪われ、ゲームは振り出しに戻った。そしてむかえた8回表、先頭小松くんがライト前ヒットでチャンスを作るとバントでセカンドに進み、迎えるバッターはこの日4打数4安打とあつている滯央くん。完璧に捉えた見事な打球はセンターの頭上を大きく越える3塁打となり、待望の勝ち越し点をもたらした(5打数5安打まさにウルトラマン・レオ級の大活躍(*^o^*))。しかしその裏、疲れが見え始めた洸くんを水沢打線が捉え、一挙5点を挙げ逆転を許してしまった。9回表は先頭打者主将安藤くんの意地のライト線2塁打が飛び出すも後続が倒れ、無情のサイレンが鳴り響いた。古豪シード校水沢を最後まで苦しみ、安打数は実に17本と相手を上回る堂々たる闘いぶりであった。

みんなの懸命の応援を力に変え、選手達は良く闘いました。春からの成長には目を見張るものがあります。これからの花高野球部の活躍を応援して下さい！

2回戦 岩手県営野球場
花泉 103200010 7
水沢 40000205× 11

感動をありがとう！ やるぜ！花高！







